

寄せられた意見

No. 2

受付日	H17. 2. 7	年齢	35歳	居住 市町村名	士別市
件名	天塩川の河川整備について				

意見：費用対効果の薄いサンルダムについて総合的な観点から建設を中止してください。

理由：サンルダム建設目的は4つあると聞いていますが、

(1) 洪水調節について

過去の事例から直接的な被災地である音威子府村～中川での調節効果が「100年に1度」と想定される3日間で220ミリ程度の降雨で約10センチという効果の低さからダム以外の治水対策で対応可能ではないのか。

(2) 流水の正常な機能の維持

「水辺の環境を守り、自然や動植物を保全することができる」とあるがダムにより自然な土砂等の下流への供給が阻止され、河床低下となり河岸崩壊が発生することが、既存ダム下流域の事例から明らかである。

また、ダム湖内で攪拌された水が流出することにより下流域の水質汚濁、生態系変化をもたらすことからダムは不要。

(3) 水道用水の供給

現段階で将来の需要増は見込めないこと、また試算自体が過大であること。このままで計画通り水利権を設定すると名寄・下川の自治体住民の水道代負担が大幅に増大することとなるが、そのような建設に不利になる説明がされていないのではないのか。

改めて試算を行い、客観的な説明をしておすべきと考える。

(4) 発電

発電の規模から発電が主たる目的ではないと思われるが、風力発電1機分程度の発電ならば設備費が過大ではないのか。

以上が建設目的に対する意見ですが、どれを取ってもダムに頼らず他の方策で充分対応できるものと考えます。

それ以外では建設予定地が、現在では希少となりつつある鮭類在来種サクラマス的一大産卵床であること。

天塩川全体で人工建造物が少ないことがレクリエーションに訪れる人々に評価されていること。など、ダムができることにより直接・間接問わず負荷が大きすぎることを考え合わせ、どの観点からもダムに頼らない治水対策が必要ではないのか、再考いただきたい。

北海道のみならず、日本の財産である大河「天塩川」流域の未来を考える貴委員会の役割は大変重要と思っています。

天塩川を巨大な用水路にすることのないよう真摯な議論をお願いいたします。